

平成25年度 第2回特別史跡熊本城跡保存活用委員会
会議録（要旨）

1. 日 時：平成26年3月26日（水）14：00～15：30
2. 場 所：熊本市国際交流会館 第3会議室
3. 出席者：14名
平井委員（委員長）、今村委員、岩下委員、北野委員、瀧井委員、武本委員、
田中委員、富田委員、永田委員、鍋島委員、松本委員、松山委員、丸野委員、
毛利委員、渡辺委員
欠席者：5名
伊東（龍）委員、伊東（麗）委員、千田委員、山尾委員、吉丸委員
4. 配布資料
 - ・ 資料1 （平成25年度委員会・部会活動内容）
 - ・ 資料2 （平成25年度第1回特別史跡熊本城跡保存活用委員会 報告）
 - ・ 資料3-1 （平成25年度 計画策定部会 報告）
 - ・ 資料3-2 （特別史跡熊本城跡の価値（案））
 - ・ 資料3-3 （熊本城跡の構成要素の整理）
 - ・ 資料3-4 （地区区分）
 - ・ 資料4-1 （平成25年度 第1回史跡・建築部会（合同開催） 報告）
 - ・ 資料4-2 （石垣悉皆調査資料（旧城域内））
 - ・ 資料4-3 （熊本城櫓方門 建物調査報告）
 - ・ 資料5 （平成25年度第1回活用部会 報告）
5. 次第
 - (1) 開会
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 報告事項
 - ①平成25年度委員会・専門部会活動内容
 - ②前回委員会
 - ③計画策定部会
 - ④史跡・建築部会
 - ⑤活用部会
 - (4) 各委員より感想・意見等
 - (5) 観光文化交流局長挨拶
 - (6) 閉会

6. 議事録（要旨）

(1) 計画策定部会（資料3、3-1、3-2、3-3、3-4）【説明：文化振興課】

質問・意見	回答
<p>(渡辺委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別史跡熊本城跡の価値（案）については、今までの指定理由などを踏まえ作成していると思うが、熊本城の城郭・郭は多く、非常に整っている。その郭の分け方や組み入れていく理由が明確になっていない気がする。そのあたりを今後申し述べさせていただきたい。 <p>(毛利委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本丸御殿から不開門の方に降りる分岐点の角に道標というか石碑が置いてある。昔からあったものなのか。また、ここにあった方がいいものなのか。 <p>(富田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料4-2の二の丸ゾーンと三の丸ゾーンのラインについて、明治時代に造られた道が境となっている。江戸時代この周辺には小笠原屋敷があった場所であり、江戸時代の話をしている中でこのゾーン分けはおかしいのではないか。 <p>(松本委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ゾーン分けについては、絵図により異なる。そこを統一しなければならないところ。昔このように言っていたなど書くなど一番良い方法を考えてもらわないといけない。 <p>(平井委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 統一して考える際、根拠をきちんと整理していただきたい。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> その石碑は道標で、本来は阿蘇の長陽にあったものと考えられる。 <p>(富田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> その付近は博物館の屋外展示場で、花園にあった熊本で一番古い六地藏などの石造物等はその展示品になる。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の境が明治時代に道となっていることは存じている。今回絵図等による区分けも検証した上で、現実的なエリア分けとさせていただいているところ。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 呼称については、計画策定部会にてご指いただいたので、絵図資料を基に編年を調査し整理しているところ。最終的に根拠を保存管理計画に盛り込むか、別冊の資料編として整理していくか今後検討していきたい。

(2) 史跡・建築部会（資料4-1、4-2、4-3）【説明：熊本城総合事務所・整備班】

質問・意見	回答
<p>(毛利委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 城内の石垣で気になっている場所が1箇所ある。奉行丸の南西にある末申櫓台の石垣で、崩れそうに感じる。手を加えた方がよいのではないか。 <p>(平井委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料4-2について、計画策定部会においてゾーン分けを変更するとなっているので、よく調整しておいて下さい。 <p>(富田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料4-3の3枚目にある絵図について、「御城内御絵図（1769年頃）」が古く、「御城図（年代不詳）」が新しい書き方になっている。それはおかしいと思うが。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 末申櫓台の石垣は、西出丸一帯の建造物復元整備の際に、現状より孕み・張り出しがあったため、解体修理を実施している。 指摘箇所は元々やせ積みという方法で、隅わきが凹んでいるようになっているが、構造上問題ないと考えている。 経年により詰めた石（間詰石）が若干動いている可能性もあるので再確認させていただきたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後統一した図面と用語で整理する。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> その件については、今後の調査研究の中で再確認していきたい。

(3) 活用部会（資料5）【説明：熊本城総合事務所・総務班】

質問・意見	回答
<p>(鍋島委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員意見踏まえ検討するとの報告を結んであるが、部会開催から2ヶ月近く経過している。この委員会では可能な範囲で決定事項について発表していただくとありがたい。 今回の資料には記載がないが、最近500店程ある城主手形協賛店にポスターを貼ってもらったり、パンフレットを置いてもらっていたようだが、最近はされていないように感じた。経済の活性化にも繋がるという意見も出されていたと思う。 <p>(平井委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部会から委員会まで時間があるので、検討結果まで一緒に報告していただきたい。 記念城主証はどのような種類があるのか。 また、一番効果があるのはどれか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報PRについて、例えば記念城主証の祝お誕生は産婦人科へ広報するなどのPRを実施しているが、いただいたご意見で取り組めるものは取り入れさせていただき、今後も各区役所、祭り関係、老人会合、その他関係各所でのPRに取り組んでいきたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類としては、誕生、入学、卒業、結婚、新築、成人、還暦がある。 最も申込みが多いのは、誕生である。

質問・意見	回答
<p>(平井委員長)</p> <p>還暦以外は若い人を対象としているように見える。米寿や白寿など子供から祖父母等へ送ることは考えていないのか。</p>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今のところ還暦のみである。
<p>(平井委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> また、記念城主証についてどのような形がよいかアンケートなど取っていないのか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在申込時に申込みきっかけ等聞くアンケートは実施しているが、それ以外にも要望を聞くアンケートを実施し、ニーズをつかんでいきたい。
<p>(北野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一口城主制度の募金の扱いについて、基金として積み立てていくのか。活用の中で計画的に執行していく予算なのか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一口城主募金は、条例を設け、熊本城復元整備するための基金として積み立てており、現在の募金はすべて第二期熊本城復元整備事業の事業費に充てさせていただくこととしている。昨年度から実際に基金を事業費に充てさせていただいている。
<p>(平井委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料によると、平成 18 年度までの旧一口城主の基金はまったく残っていないのか。 新一口城主が 5 億円残っているということか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 10 年から 18 年度まで第Ⅰ期事業として 6 つの建造物を復元し、その期間の募金総額 12 億円すべてを充てさせていただいた。平成 21 年 1 月より第Ⅱ期事業として 3 つの建造物復元のため募金を集めさせていただいている募金総額が 5 億円で、現在馬具櫓復元に充てさせていただいているところ。
<p>(平井委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の募金がどの建物のどこに使われているか具体的に示す方が、募金する側としてはやり甲斐があると思う。天守閣再建の時ははっきりしていて良かった。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 城主の方には年 1 回程度城主便りを送り、馬具櫓の復元整備状況などを紹介、周知させていただいている。今後もその他広報誌に現在の復元の状況を掲載することも考えていきたい。
<p>(北野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在のシステムは年々申込者が減っていく一度城主になると再度という仕組みにはなっていない気がする。募金の使われ方が建物毎など具体化すると何回も募金する気になるし、リピート率など出していただくともう少し議論ができると思う。現在の記念城主証は年を重ね、きっかけ毎に申込みする仕組みだが、その辺り考えた方がよいのでは。 	

(4) 各委員よりその他の意見

(鍋島委員)

- ・ 会議資料は事前に郵送していただきたい。目を通し少しでも考える時間があった上で参加させていただけるとありがたい。

(平井委員長)

- ・ 会議当日の資料も遠方からなので資料持参でなく併せて準備をお願いしたい。

(鍋島委員)

- ・ 今後の会議実施にあたってはスクリーン化していただくとわかりやすい。また、会議前には地図や呼称などは整合を取っておいていただきたい。

(毛利委員)

- ・ 熊本城は大変自然が残り、自然が熊本城域の魅力と思う。例えば、熊本城内の藤崎台と頼当御門のくすのきで確認できた梟（ふくろう）や竹の丸の肥後桜など。
- ・ 藤崎台球場へ上る坂には大きな駐車場看板しかなく、藤崎台のくすのきの案内表示を考えただけであれば。

質問・意見	回答
<p>(平井委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本城の歴史的景観、動植物に対する思い入れはそれぞれの方で違うと思うが、地域に関係ないものを植樹したり、個人的に勝手に思いつきで植樹したりするのはまずいと思う。 ・ 本来お城として機能していた時代から存在する木をはっきりしていただき、今後どのような植物を植栽していったら良いかも整理していただきたい。 ・ その上で歴史的な環境をどのように守り、良くしていくかについても計画策定部会で議論していただきたい。 <p>(鍋島委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は加藤清正が今の状況を本当に満足しているのか、これだけ樹木がたくさんあったらお城の体（てい）はなしていないと思う。 <p>(平井委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本来お城として機能している時は、敵がよじ登って来られるので、そんなに木が生えているはずはない。 ・ そのような意味では、現代の人が持っているお城の感覚とは断然変わってきていると思う。 ・ どの程度が歴史的な環境だと共通で認められるのかというのは皆で相当議論しておかなければならないと思う。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その件に関しては、現在樹木の現況調査を実施し、江戸時代から残っている樹木など選別作業を行っている。植栽計画含めて来年度に基本計画案を作成する予定であり、今後この委員会や専門部会でご審議いただきたい。